

国語科学習指導案

1.日時 平成30年10月24日(水)第5校時(14:00~14:45)

2.学年・組 第5学年1組(29名)

3.単元名 説明の仕方の工夫を見つけて読み、筆者の主張について自分の意見をまとめ話し合おう。
「天気を予想する」

4.単元目標 筆者が伝えたいこと、論の進め方、図表などの活用について考えをまとめて発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

5.単元の評価基準

【国語への関心・意欲・態度】

- ・題材、筆者の考え、説明の仕方に興味を持って読もうとしている。

【読む能力】

- ・筆者が事例、理由や根拠として挙げている事実を読み取っている。【読む】
- ・筆者の説明の工夫やその効果が表れている部分に気づき、読み取っている【読む】
- ・筆者の主張、根拠を自分なりに評価する観点を持ち、筆者の主張についての意見を表している。【読オ】

【言語についての知識・理解・技能】

- ・語と語の関係に気を付けることで、文の意味が捉えやすくなることに気付いている。

6.児童について

本学級は、休み時間には外に出てみんなで遊ぶことが多く、全体的に活発で明るい児童が多い。しかし、授業になると、積極的に発言し参加する児童は限られており、興味や苦手意識から教科によって学習態度が変わる児童や、気分によって全く取り組まない、集中力が持たないといった児童が目立つのが現状である。そのため、学力の高い児童と、低い児童の差が激しく分かれていることが大きな課題としてあげられる。また、個別指導を要する児童も数名いる。

国語科においては、全体的に面白くない、苦手であるといった意識を持っている児童が多いと感じている。【読むこと】に関しては、前単元で、物語文ではあるが「大造じいさんとガン」を読み、文章から登場人物の心情や情景を読み取る、物語の構成や文章の工夫を見つけるなどといった学習をしていたが、深く読み取ることができている児童が多く見られた。一方で、【書くこと】に関しては、話の道筋をつけて書くことができない、自分の思いを自分の言葉で書くことができない、どのように感じたことを書き

だせばよいかわからないなど実態は様々であるが、書くこと自体に抵抗感を持っている児童が多く、モデル文を示し真似をするところから始め、文章を書くことに慣れていく支援をする必要があると考える。

7. 単元について

(1) 教材について

児童にとって本教材は、理科で天気を学習していることや、宿泊学習のたびに雨で苦い経験していることから、身近で興味深く読むことができると考えられる。天気の子想は科学技術の進歩によって発展してきたことや、その進歩によっても予測しづらい現象があるということを、本文から読み解くことができるように導きたい。さらに、本文終末の筆者の問いかけから、身の回りの自然と人間のかかわりをもう一度確かめさせたいと考える。

また、文章構成や資料や数値を用いた説明の効果や工夫を捉えたうえで、筆者が伝えたかったことに自分の考えを書きまとめ、学習を深めたいと考える。

(2) 指導について

主な指導内容は、①文章の構成に注目しながら内容を的確に捉えたり、資料を用いて示された事実と筆者の意見などを押さえ、②それを受けて考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることである。

説明文を「読むこと」で児童がとまどうのは、「難しい言葉が多く内容が入ってこない」「文章が長すぎてどこに書いてあるのかわからない」ということであると予想する。本教材では、最初に文章を覆う大きな問いがあるのではなく、小さな問いがあって答えがある、すると次の問いが生まれるということを3回繰り返す構成になっている。したがって、少し長い文章であるが、段落相互の関係が捉えやすくなっている。そのことを生かし、一問ずつ問いと答えを確認しながら、ワークシートを使って整理する活動することで、文章の構成と内容の理解につなげたいと考えている。

本教材は、表やグラフを用いながら事実を説明している部分、筆者の考えを述べている部分が捉えやすい文章である。筆者が読者に何を伝えたかったのかを書きまとめる活動をすることで、要旨を捉えることにつなげたいと考えている。その際、どのようにまとめればよいか悩む児童には、筆者からのメッセージが最も強く表れている第10段落の内容を中心にまとめさせるように指導したい。

またそれに加え、筆者が伝えたかったことや、筆者の説明の工夫について、自分の考えを書き、発表することで学びを深めたいと考えている。「書くこと」の学習で、「何を書けばよいかわからない」「どのように書けばわからない」といった児童が予想される。「自分が説明文を書くときに、読む人がわかりやすいようにどのような工夫をするか」「筆者の主張に対してどのように自分は思うか」などの、具体的な発問をすることで書く事柄を見つけることができるようにしたい。そして、「どう書きだしたらよいか」ということも、児童にとってはつまづく点になるので、早く書けた児童の文章を例示として発表することによって、文章の見通しを持てるような支援をしたいと考えている。

8. 単元計画

時間	学習活動	指導上の留意点	評価基準と評価方法
1	<p>○天気予報について知っていることを話し合う。</p> <p>○「天気を予想する」を読んで、初めて知ったことや、説明がわかりやすいと思ったところなどを交流する。</p>	<p>○既存の知識や経験を交流することで、本教材をよむ構えを作る。</p> <p>○題材や筆者の考え、説明の仕方の工夫について取り上げ、学習課題や、学習計画につなげる。</p>	<p>【関】</p> <p>題材、筆者の考え、説明の仕方に興味を持って読もうとすることができるようにする。</p> <p>(観察・ノート・発表)</p>
<p>【学習課題】説明の仕方の工夫を見つけて読み、筆者の主張について自分の意見をまとめ話し合おう。</p>			
<p>○学習計画を立てる。</p>			
2 (本時)	<p>○3つの問いと答えを書き抜き整理し、文章構成の工夫について考える。</p>	<p>○「問い」と「答え」が3回繰り返され、最後に主張が書かれている文章構成をとらえる。</p>	<p>【読】三つの問いと答えを見つけ、それぞれの関連を読み取っている。(ワークシート・発表)</p>
3	<p>○筆者が表・絵・図・グラフを使う意図や、それぞれが読者に与える効果について考える。</p>	<p>○表・絵・図・グラフのそれぞれを用いて説明する良さをまとめる。</p>	<p>【読】表・絵・図・グラフの使い方について、筆者の意図や効果に気付いている。(ノート・発表)</p>
4	<p>○数値の効果や、筆者の考えとそれを支える事実について考える。</p>	<p>○言葉のつながりに注目しながら、筆者の考えのもとになっている事実を読み取る。また、数値を用いることで、説得力が増していることを気づかせる。</p>	<p>【言】語と語のまとまりや接続の仕方について理解している。(ノート)</p> <p>【読】筆者の考えの根拠となる事実を読み取り、数値を使って説明することの効果を理解している。(ノート・発表)</p>
5	<p>○筆者が伝えたかったことや、筆者の説明の工夫について、自分の考えを書き、まとめる。</p> <p>○書いたものをもとに、話し合う</p> <p>○学習を振り返る</p>	<p>○筆者の伝えたかったことや、それに至るまでの論の進め方や、説明の仕方の工夫などについて書かせる。</p> <p>○それぞれの意見を交流し、考えを深め学習のまとめをする。</p>	<p>【話】筆者の主張やその根拠に対する自分なりの考えを持ち、書きまとめ、意見を表すことができている。</p> <p>(ノート・話し合い・発表)</p>

9.本時の目標

3つの問いと答えの関連に着目し、文章の構成と筆者の説明のしかたの工夫を読み取ることができる。

10.本時の展開 (2/5 時間)

学習活動	●発問○予想される児童の反応	△指導上の留意点▲支援	評価の視点と方法
<p>・本時のめあてを確認する。</p> <p>・本文を読み、三つの問いの文とそれに対する答えの文を見つける。</p>	<p>【学習課題】 文章構成の工夫について考えよう。</p> <p>●どのような文章構成の工夫があるでしょうか。 ○説明があって最後に筆者の主張がある。 ○問いかけのような言葉遣いが使われている。 ○問いの後に答えがある</p> <p>●問いは文中のどこにありますか。 ○教科書 139 ページの 3 行目 ○教科書 142 ページの 1 行目 ○教科書 143 ページの 11 行目</p> <p>●三つの問いに対する答えを見つけましょう。</p> <p>●一つ目の答えは何でしょうか。</p> <p>☐的中率は、どうして高くなったのでしょうか。</p> <p>【答え】主に、二つの理由によるものといえます。 【理由①】 科学技術の進歩 【理由②】 国際的な協力の実現</p>	<p>△児童の見つけた工夫を「問い」と「答え」の文章構成につなげていくようにする。</p> <p>▲問いの文を見つけるのが難しい児童には、「一か。」のような問いの文末表現を見つけられるように声かけをする。</p> <p>▲ワークシートを配布し、見つけた問いと答えを整理しやすくする。</p> <p>▲個人で考えたことをグループで交流することで、考えを広げたり深めたりできるようにする。</p> <p>△同じ文章構成であることがわかるように、問い答の順で板書をする。</p> <p>△本文をそのまま抜き出すのではなく、特にどこが大切なかを考え、まとめるようにする。</p>	<p>三つの問いと答えを見つけ、それぞれの関連を読み取っている。(読)</p> <p>【ワークシート・発表】</p>

<p>・問いと答えが連続する文章構成の効果について考える。</p> <p>・振り返りをする</p>	<p>●二つ目の答えは何でしょうか。</p>	<p>△「問い」と「答え」をくり返しながら、筆者が主張を進めている文章構成を確認する。</p> <p>▲答えが出にくい場合には、ペアで話し合いの活動を入れて、考えやすくする。</p> <p>△読み手の思考の流れに沿いつつ、自分の主張に近づけるような論の展開に気付かせる。</p>	
	<p>☐さらに科学技術が進歩し、国際的な協力が進めば、天気予報は百パーセント的中するようになるのでしょうか。</p>		
	<p>【答え】それはかなり難しい。 【事実①】突発的な天気の変化 【事実②】局地的な天気の変化 ●三つ目の答えは何でしょうか。</p>		
	<p>☐突発的・局地的な天気の変化を予想するために、できることはないのでしょうか。</p>		
	<p>【答え】いくつかの手立てがある 【手立て①】実際に自分で空をみたり風を感じたりする。 【手立て②】天気に関することわざが有効な場合もある。</p> <p>●筆者はなぜ三つの問いと答えが連続する文章構成にしたのでしょうか。 ○同じ流れで書いたほうが、予想しながら読むことができる。 ○順番に進んでいくほうが、読む人がわかりやすいから。 ○自分の考えに説得力を持たせるため。</p> <p>●今日の学習を振り返ろう</p>		

12.板書計画

【学習課題】

文章構成の工夫について考えよう。

①的中率は、どうして高くなったのでしょうか。

【答え】主に、二つの理由による

【理由①】 科学技術の進歩

【理由②】 国際的な協力の実現

②さらに科学技術が進歩し、国際的な強力が進めば、天気予報は百パーセントの中するようになるのでしょうか。

【答え】それはかなり難しい。

【事実①】 突発的な天気の変化

【事実②】 局地的な天気の変化

④突発的・局地的な天気の変化を予想するために、できることはないのでしょうか。

【答え】いくつかの手立てがある

【手立て①】 実際に自分で空をみたり風を感じたりする。

【手立て②】 天気に関することわざが有効な場合もある

筆者の主張

◎筆者はなぜ三つの問いと答えが連続する文章構成にしたのでしょうか。
・同じ流れで書いたほうが、予想しながら読むことができる。
・順番に進んでいくほうが、読む人がわかりやすいから。